

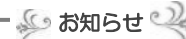
山本助産院だより

2014. 12



236-0031
横浜市金沢区六浦 2-14-12
TEL 045-788-6601

<http://www1.seaple.icc.ne.jp/utako-y/>



◆12月8日(月) あいあい倶楽部クリスマス会
10:30~13:30 六浦地区センター中小会議室にて
1品持ち寄りパーティです。助産院からケーキのプレゼントも♪
どなたでも参加できます。お友達を誘ってどうぞ☆
ご予約は、山本助産院(TEL:045-788-6601)まで

* 詩子のつぶやき * vol. 37 手作りの品

30数年前、手芸や裁縫が得意でない私ですが、産休に入ってから産着や小物をよく作りました。雑誌の付録についている型紙を使って、説明書を見ながら一生懸命作ったように思います。ひと針ひと針縫いのものや、ミシンがけのものなど、没頭できてとても楽しい時間でした。さらしを使って縫い上げた産着は、直線裁ちで簡単なので、是非作ってみてください。どこかにきつと仕舞い込んでいる布や手ぬぐいがあるはずですから産着作りにぜひ挑戦してみてください。仕上がっていくのが嬉しかったし、並べて眺めながら、生まれてくる赤ちゃんに着せることを想像するのはとても幸せなひと時でした。1才になったころ作ったもので、今だに名品と記憶しているのが、着なくなった大人用トレーナーから作った上下のベビー服です。袖のところがズボン、下の部分がベビートレーナーに変身!! 砂場で汚してもへっちゃらで、ママたちからも大絶賛でした。いまだに雑誌の切り抜きを捨てられないでとってあり、先日発見しました。皆さんに紹介し、作ってみたいですね。



そうそう毎年助産院では、桃の節句になると、お雛様を飾っていますが、和紙でできた5段飾りの小さなお雛様に気が付いた方はいらっしゃいますか? これも産休中の作品で、友人から教えてもらってからマイブームとして幾つも作成し、あちこちにプレゼントして喜ばれました。PTAで小学校のお母さんたちにもお教えして簡単にできると、これもまた好評でした。助産院には、お雛様を作る『雛づくり部』という伝説の部活動がありますが、どうやら復活したようです。どうぞ生まれてくるお嬢さんのために、自分のためにお雛様に挑戦してみてください。助産院地下に下りる階段の横に飾ってあります。ちょっとしたプチ自慢になること間違いなしです。手作りの何て暖かいこと・・・30年たっても色あせることなく思い出と一緒に残っています。

山本詩子

※雛部は次回12月16日(火)13:30~ 助産院にて行います。ぜひご参加ください♪ (材料の都合上予約をお願いします)

♪ 助産院レシピ

干し柿の白和え

～季節のおいしさをいただきます～



材料: 干し柿(2個) 木綿豆腐(1丁)
砂糖(大さじ2杯) 薄口しょうゆ(小さじ2杯)
塩(少々) 練りごま(大さじ1杯)

作り方

1. 豆腐は布巾またはキッチンペーパーで包んで、軽い重石をのせ1時間ほど押す。
2. 押した豆腐をすり鉢でよくすりながら、砂糖、薄口しょうゆ、練りごま、塩を一つまみいれてよく混ぜ合わせる。
3. 干し柿は1センチのサイコロ型に切る。
4. 2の白和えと3の柿を混ぜ合わせて器に盛り付ける。

スタッフ紹介♪ 仁専有紀子

こんにちは。助産師の仁専有紀子です。11月から当直勤務をしています。今、私が興味を持っている事は料理です。パウーあふれる山本助産院の大きな魅力の一つに「ごはん」があります。苦手な食材も助産院のごはんだと、とにかく美味しい!! これからは私も助産院で料理の腕も磨きたいと思っています。皆様、ぜひ私におすすめレシピを教えてください♪



現役助産師から見た助産院♪

はじめて助産院にきたのは、助産師学生の時でした。北海道から大きな荷物を抱えて、はじめてのひとり旅。はじめての土地での助産院実習。どんな助産師さんたちがいるのだろう??と、不安いっぱいでしたのを覚えています。当時、助産院が引越したばかりで看板もなく、助産院のまわりをウロウロ。そんな私を詩子先生、スタッフのみなさんが、笑顔で迎えてくれました。

あれから8年。いつきてもあたたかく迎えてくれる助産院。病院とは違う時間の流れに、心からほっとする場所です。そして、またここに帰ってこれたなと、当時を思い出して初心に戻る事ができる大切な場所です。今回は、安産クラスに参加させていただきました。妊婦さんたちがとても活き活きしていて、笑顔がステキ!! いつも変わらない温かい雰囲気と活き活きした女性たちに元気をもらえました!!

助産師 清本知佳子

～リレー随筆～

大久保希望

山本助産院で出産し、現在産後ヘルパーとして活躍中! 男子2人の母です♪

長男小4、次男小2、二人とも詩子先生に取り上げていただきました。

わたしにとっての助産院は『ただいま～』って思うもうひとつの実家です。いつもあたたかい笑顔で迎えてくれる、初心に帰れる、安心できる、とっておきの場所です。

息子を充電してあげているようで、実は自分が充電されています。いつまでハグさせてもらえるかわからないけど、今の時間も大切にしていきたいと思う日々です。

ヘルパーで『ありがとう』って言葉をいただくと、やる気スイッチが入ります! 誰かに感謝されることに微力ながら携われることができ、幸せです。

